

第二期柏市地球温暖化対策計画 実績報告書



令和元年度における市域の温室効果ガス排出量

令和2年度における地球温暖化対策取組み状況

令和元年10月に第三期柏市地球温暖化対策計画を施行しましたが、温室効果ガス排出量の算定に使用する国の統計書が整備される時期の関係で、令和元年度の区域の排出量について報告します。

目次

第1章 第二期柏市地球温暖化対策計画について	2
1 計画の位置付け	2
2 温室効果ガス排出量の削減目標	2
3 目指す将来象	2
4 行政の推進体制	2
第2章 令和元年度における柏市の温室効果ガス排出量について	3
1 柏市の温室効果ガスの排出量	3
2 柏市の温室効果ガス排出量の部門別構成比	4
3 第二期柏市地球温暖化対策計画の目標達成状況	4
4 柏市における家庭1世帯あたりの年間電力消費量の推移	5
第3章 令和2年度における柏市の主な地球温暖化対策について	7
1 かしわエコサイトによる情報発信	7
2 柏市エコハウス促進総合補助金による家庭の省エネ・創エネ・蓄エネの推進	7
3 柏市太陽光発電設備設置運営事業の実施	9
4 かしわ環境フェスタ2020の開催	10
5 緑のカーテンの推進	10
6 柏市エコアクションプランによる市有施設の省エネの推進	11
7 沼南支所におけるコージェネレーションシステムの導入	12
8 公共施設における太陽光発電設備の設置	13
9 公共施設等におけるLED化の推進	14
第4章 主な地球温暖化対策による年間CO₂削減見込量	15

はじめに

本書は、地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第15項及び柏市地球温暖化対策条例第7条に基づき、令和元年度における第二期柏市地球温暖化対策計画の実績を公表するものです。

柏市の主な地球温暖化対策（第3章）については、令和2年度の実績を報告しますが、柏市の温室効果ガス排出量（第2章）については、算定に使用する国の統計データが最新である令和元年度の排出量を報告します。

第1章 第二期柏市地球温暖化対策計画について

1 計画の位置付け

地球温暖化対策の推進に関する法律第21条第3項及び柏市地球温暖化対策条例第7条に基づき策定された、柏市の地球温暖化対策を総合的かつ計画的に推進するための計画（計画期間：平成26（2014）年度～令和2（2020）年度）です。

2 温室効果ガス排出量の削減目標

平成17（2005）年度比 令和2（2020）年度までに3.8%削減

3 目指す将来像

「持続可能な低炭素ライフへの転換」をコンセプトに、5つの将来像の実現を目指します。

① エネルギーを賢く使う街

～市民・事業者・柏市が高い環境意識を持って行動している街～

② 緑と自然を活かす街

～街中に緑や自然が調和しており、気候変動に備えた住みやすい街～

③ 健康で生きがいのある街

～充実した社会活動環境があり、外出により温室効果ガスを抑制する街～

④ 世代を超えて学び合う街

～各主体が知見を共有するとともに、次世代への教育を行っている街～

⑤ エコで活性化する街

～温暖化対策が新たな環境ビジネスの創造、地域の活性化につながる街～



4 行政の推進体制

副市長を本部長とした、柏市地球温暖化対策推進本部を設置し、庁内一体となった組織横断的な地球温暖化対策の推進を目指します。

- 本部長：副市長 ●副本部長：環境部長
- 委員：水道事業管理者、総務部長、企画部長、企画部理事、財政部長、地域づくり推進部長、市民生活部長、保健福祉部長、保健福祉部理事、保健所長、こども部長、経済産業部長、都市部長、都市部理事、土木部長、土木部理事、生涯学習部長、学校教育部長、学校教育部理事、消防局長

※令和元年10月より、上記に教育長と代表監査委員が加わりました。

第2章 令和元年度における柏市の温室効果ガス排出量について

1 柏市の温室効果ガスの排出量

柏市の平成2年度から令和元年度までの温室効果ガスの部門別排出量は以下のとおりです。

- 令和元年度の温室効果ガス排出量は、合計で2,071.4千t-CO₂となりました。
- 民生部門について、基準年度である平成17年度から総じて増加傾向にありましたが、転じて平成30年度から減少傾向にあります。前年度と比較すると家庭系は約3.8%,業務系は約6.3%減少しました。暖冬の影響により給湯や暖房の需要が減少したことや、省エネの進展によるものと考えられます。
- 産業部門について、基準年度である平成17年度から減少傾向にありましたが、前年度と比較すると約14%増加しました。製造業において一部の業種で出荷額が増加したことに伴い、エネルギーの消費量も増加したことによるものと考えられます。
- なお、柏市の温室効果ガス排出量は、千葉県域の総排出量等を、世帯数や業務用床面積等で按分して算出しており、柏市域の排出量を積み上げた結果ではありません。

図 柏市の温室効果ガス排出量の推移(単位:千t-CO₂)

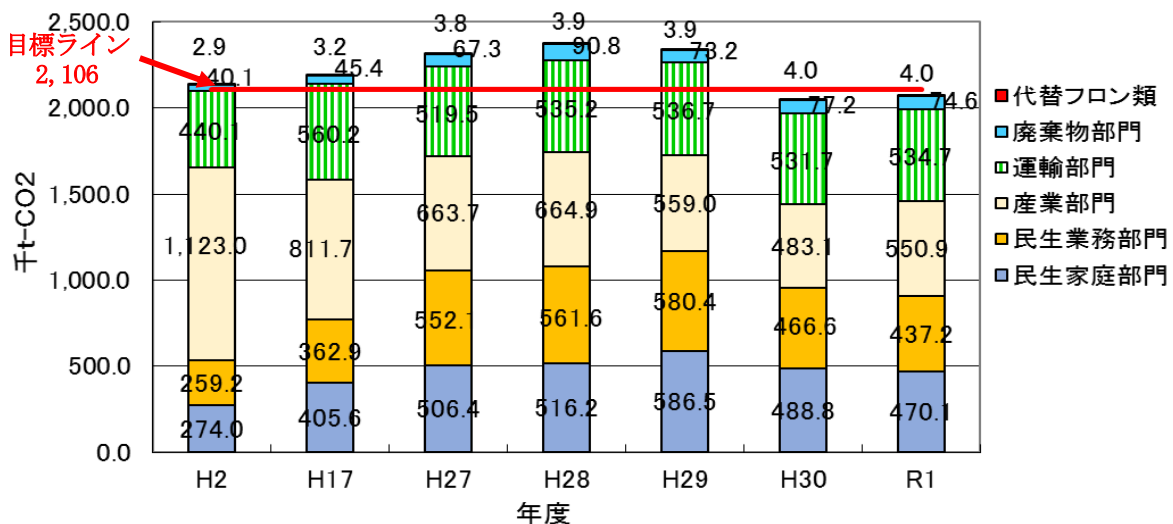


表 柏市の温室効果ガス排出量の推移 (単位:千t-CO₂)

部門/年度	H2	H17	H27	H28	H29	H30	R1
民生家庭部門	274.0	405.6	506.4	516.2	586.5	488.8	470.1
民生業務部門	259.2	362.9	552.1	561.6	580.4	466.6	437.2
産業部門	1,123.0	811.7	663.7	664.9	559.0	483.1	550.9
運輸部門	440.1	560.2	519.5	535.2	536.7	531.7	534.7
廃棄物部門	40.1	45.4	67.3	90.8	73.2	77.2	74.6
代替フロン類	2.9	3.2	3.8	3.9	3.9	4.0	4.0
合計	2,139.3	2,189.0	2,313.9	2,373.8	2,339.7	2,051.4	2,071.4

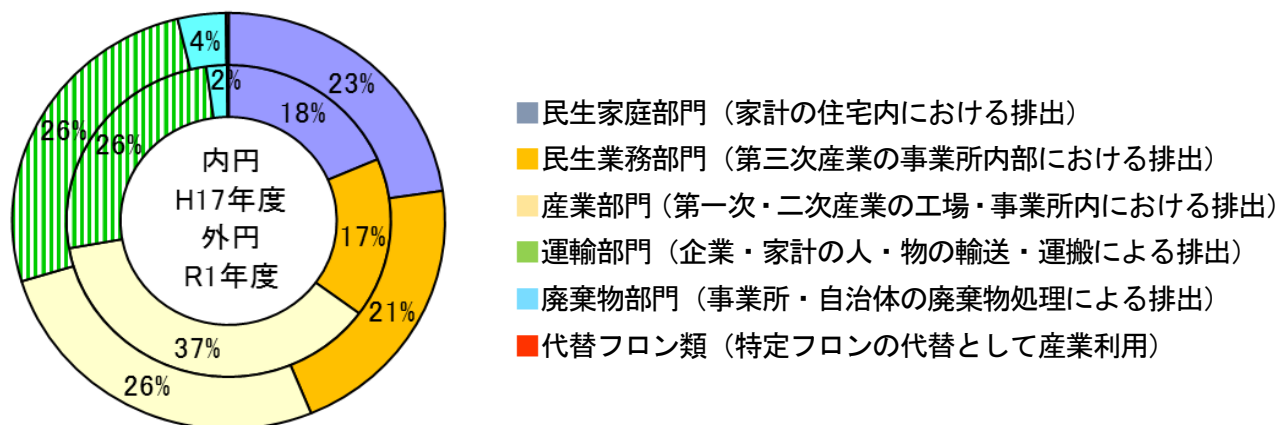
※合計は、各部門ごとに小数点以下第2位で四捨五入した値を合算したものです。

※電力の排出係数は、東京電力エナジーパートナー株式会社の令和元年度実排出係数を用いています。

2 柏市の温室効果ガス排出量の部門別構成比

柏市の温室効果ガス排出量の部門別構成比は以下のとおりです。令和元年度における構成比を基準年度である平成17年度と比較すると、産業部門の占める割合が減少している一方で、民生家庭部門と民生業務部門の占める割合は約1.2倍増加し、全体の約半分を占めています。

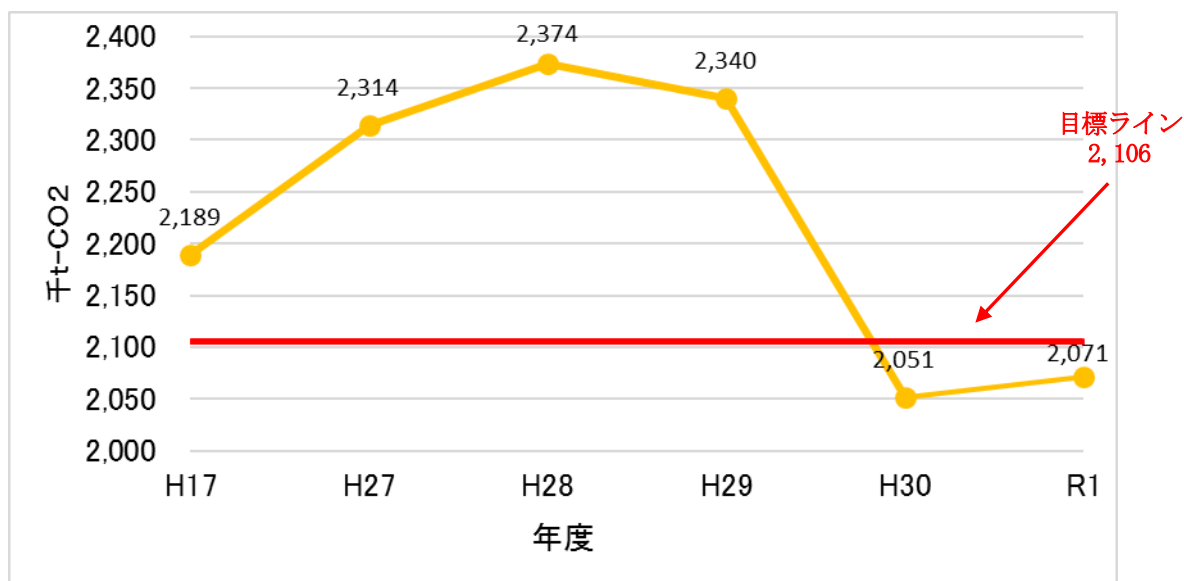
図 柏市の温室効果ガス排出量の部門別構成比



3 第二期柏市地球温暖化対策計画の目標達成状況

令和元年度における柏市の温室効果ガス排出量は前年度と比較すると約20千t-CO₂増加したものの、基準年度である平成17年度と比較すると約5.3%の減少であり、第二期柏市地球温暖化対策計画の目標値（2頁参照）を下回りました。

図 第二期柏市地球温暖化対策計画の目標達成状況



4 柏市における家庭1世帯あたりの年間電力消費量の推移

柏市における家庭1世帯あたりの年間電力消費量の推移は、以下のとおりです。

平成23年3月11日に発生した東日本大震災以降、一人ひとりの節電努力により、1世帯あたりの年間電力消費量は減少傾向にありましたが、平成29年度は大幅に増加しました。

転じて平成30年度以降は再び減少傾向にありますが、気候の影響が大きいと考えられ、引き続き一般家庭における省エネ機器への買い換えや再生可能エネルギーの導入などを推進していきます。

図 柏市における家庭1世帯あたりの年間電力消費量の推移（単位：kWh/世帯）

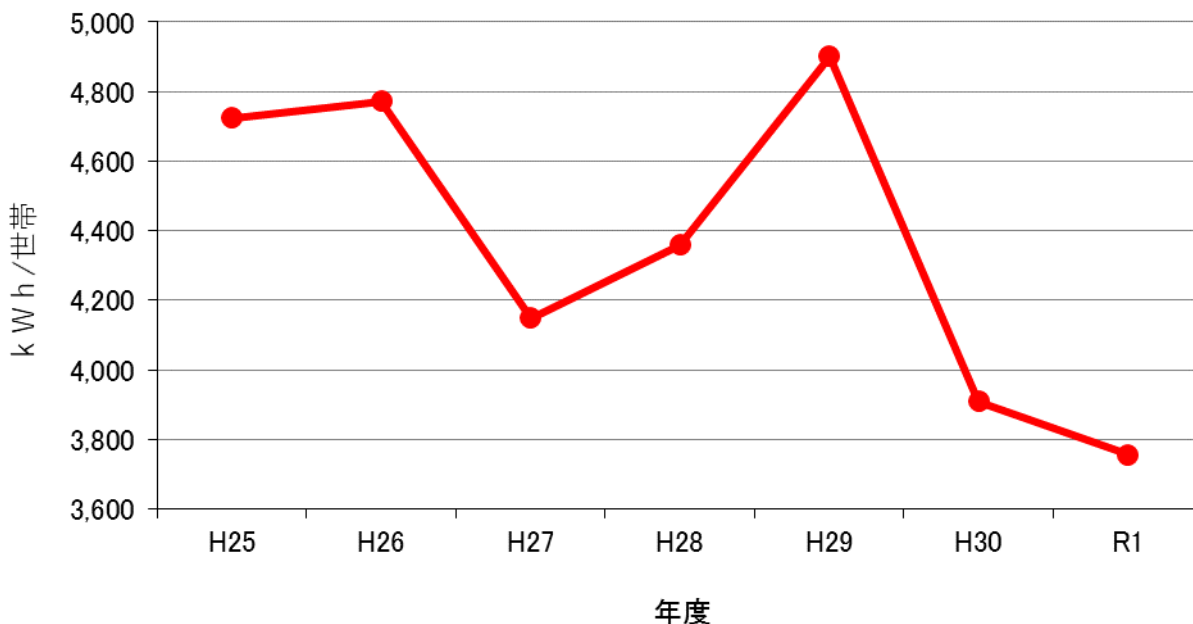


表 柏市における家庭1世帯あたりの年間電力消費量の推移

項目/年度			H17 (2005)	H25 (2013)	H26 (2014)	H27 (2015)	H28 (2016)	H29 (2017)	H30 (2018)	R1 (2019)
		単位								
柏市における家庭の総電力消費量	A	GWh	779	793	814	729	780	894	726	714
柏市の世帯数	B	世帯	144,013	167,857	170,543	175,691	178,901	182,382	185,715	190,058
柏市の人口		人	380,963	406,395	408,198	413,954	417,294	420,824	424,322	429,070
1世帯あたりの電力消費量	A÷B	kWh/世帯	5,409	4,724	4,773	4,149	4,360	4,902	3,909	3,757

※家庭の電力消費量は千葉県における民生家庭の電力消費量（都道府県別エネルギー消費統計より抽出）を、柏市の世帯数で按分することにより算出しています。

Q 家庭のCO₂排出量を削減するには何をすればいいの？

例えば、年間CO₂排出量が3,900kg-CO₂の家庭をモデルとすると、以下の①～⑭の節電メニューに1年間取り組んでも、約25%しか削減することができません。しかし、合わせて、冷蔵庫やエアコンなどの年間消費電力の大きい家電製品を、省エネのものに買い換えることでさらに削減することができます。

表 家庭における節電メニューの例

※出典：家庭の省エネ徹底ガイド春夏秋冬（資源エネルギー庁）

No	節電メニュー	年間CO ₂ 削減量
①	電球型LEDランプに取り替える	52.8kg-CO ₂
②	冷暖房は夏は28°C、冬は20°Cを目安にする	40.6kg-CO ₂
③	冷暖房の使用時間を1日1時間減らす	28.9kg-CO ₂
④	電気カーペットを「強」から「弱」にする	90.6kg-CO ₂
⑤	テレビ画面の輝度を最適にする	74.0kg-CO ₂
⑥	ジャー炊飯器は使わないときはプラグを抜く	26.2kg-CO ₂
⑦	電気ポットは使わないときはプラグを抜く	52.3kg-CO ₂
⑧	冷蔵庫の設定温度を「強」から「弱」にする	30.1kg-CO ₂
⑨	間隔をあけずに入浴する	87.0kg-CO ₂
⑩	加減速の少ない運転をする	68.0kg-CO ₂
⑪	冷蔵庫にもものを詰め込みすぎない	21.3kg-CO ₂
⑫	ふんわりアクセル「eスタート」を心がける	194.0kg-CO ₂
⑬	エンジブレーキを使い、早めのアクセルオフ	42.0kg-CO ₂
⑭	衣類乾燥機は自然乾燥と併用	192.2kg-CO ₂
合計		1000.0kg-CO ₂

図 家庭からの燃料種別CO₂排出量

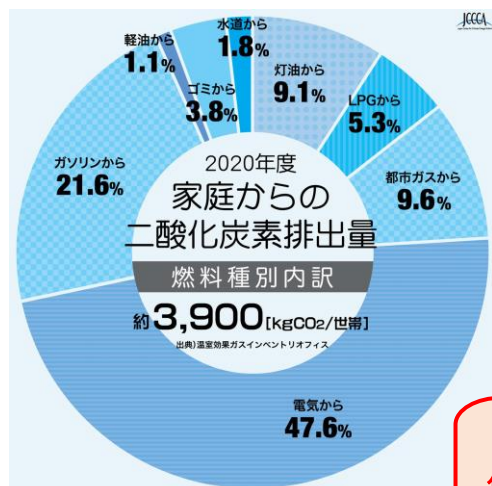
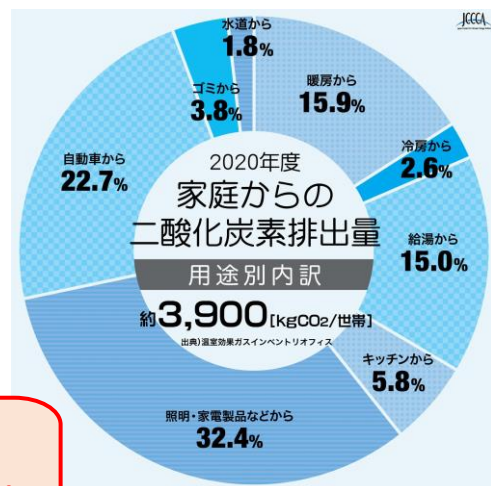


図 家庭からの用途別CO₂排出量



1世帯あたり、
年間約4 t-CO₂
排出されています。

※出典：温室効果ガスインベントリオフィス、

全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト (<https://www.jccca.org/>)

第3章 令和2年度における柏市の主な地球温暖化対策について

1 かしわエコサイトによる情報発信

かしわエコサイトは、市民や事業者向けに、地球温暖化対策等に関する情報を発信するためのホームページです。平成28年3月より、柏市オフィシャルウェブサイト統合しました。



計画・取り組み	地球温暖化対策	自然・生きもの
<ul style="list-style-type: none"> 実施計画 取り組みの実績報告 KEMS 	<ul style="list-style-type: none"> クールチョイス 市民の皆さま向け 事業者の皆さま向け 市の取り組み 緑のカーテン エコドライブ 	<ul style="list-style-type: none"> 野生生物を見かけたら 特定外来生物 市の取り組み 手賀沼の水質改善

2 柏市エコハウス促進総合補助金による家庭の省エネ・創エネ・蓄エネの推進

エネルギー利用の効率化・最適化を実現する『住宅のエコハウス化』の普及拡大を図るため、家庭に「省エネ」「創エネ」「蓄エネ」設備を導入する費用の一部を補助しました。



図 補助件数の推移

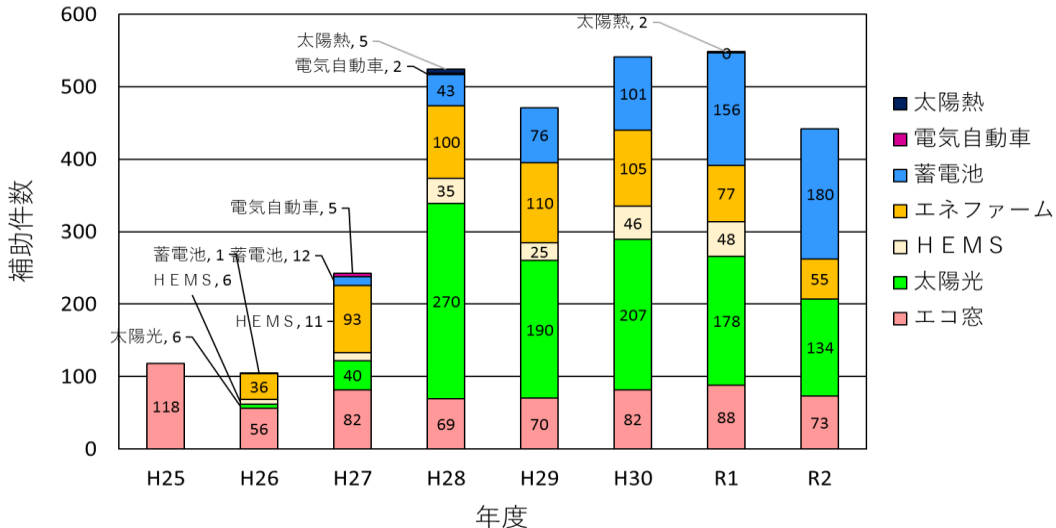


表 柏市エコハウス促進総合補助金交付実績

(単位：件・千円・t-CO₂/年)

メニュー/年度		H28	H29	H30	R1	R2
エコ窓改修	件数	69	70	82	88	73
	補助額	5,094	4,708	5,729	5,764	4,633
	年間CO ₂ 削減見込量	15.5	15.7	18.4	19.7	16.4
太陽光発電設備	件数	270	190	207	178	134
	補助額	17,221	11,465	13,302	12,205	9,694
	年間CO ₂ 削減見込量	558.2	408.5	443.2	354.8	230.6
エネルギー管理システム (HEMS)	件数	35	25	46	48	—
	補助額	350	250	460	480	—
	年間CO ₂ 削減見込量	5.5	3.8	7.0	7.1	—
家庭用燃料電池システム (エネファーム)	件数	100	110	105	77	55
	補助額	10,000	11,000	8,400	3,850	2,750
	年間CO ₂ 削減見込量	130.0	143.0	139.7	102.4	73.2
定置用リチウムイオン 蓄電システム	件数	43	76	101	156	180
	補助額	4,300	7,600	10,100	15,600	18,000
電気自動車充給電設備	件数	2	—	—	—	—
	補助額	100	—	—	—	—
太陽熱利用システム	件数	5	0	0	2	—
	補助額	250	0	0	100	—
	年間CO ₂ 削減見込量	2.7	0	0	1.1	—
合計	件数	524	471	541	549	442
	補助額	37,315	35,023	37,991	37,999	35,077
	年間CO ₂ 削減見込量	711.9	571.0	608.3	485.1	320.2

※年間CO₂削減見込量は、各メニューごとに必要な要素を踏まえたうえで算出しています。

- 令和2年度はエコ窓改修、太陽光発電設備、家庭用燃料電池システム、定置用リチウムイオン蓄電システムを対象に補助を行いました。
- 定置用リチウムイオン蓄電システムについて、防災意識の高まりから年々需要が増加していると考えられます。
- 温室効果ガスの排出抑制と災害時エネルギー確保の同時実現を達成するため、今後さらに「省エネ・創エネ・蓄エネ」設備の普及促進を図ってまいります。

3 柏市太陽光発電設備設置運営事業の実施

再生可能エネルギーの普及促進や未利用地の有効活用を目的として、旧風早南部小学校跡地に高柳ソーラー発電所（発電容量500kW）を設置しました。市は公有地を民間事業者の有償で貸し出し、事業者は大規模太陽光発電設備を設置・運営し、固定価格買取制度を活用した売電による収入を得ることで、市に借地料を支払います。本事業により293.2t-CO₂/年のCO₂排出量が削減されました。

設置前



設置後



表 柏市高柳ソーラー発電所の概要

貸付面積	10,591m ²
発電容量	500kW
事業実施期間	20年間
発電開始日	平成27年6月2日

表 発電量及びCO₂削減量（単位：kWh・t-CO₂）

項目/年度		H30	R1	R2
年間発電量	上期（4～9月）	423,815	395,922	385,081
	下期（10～3月）	268,024	274,130	270,942
	合計	691,839	670,052	656,023
年間CO ₂ 削減量		323.8	306.2	293.2

約73世帯分の年間CO₂排出量に相当します。

※1世帯あたりの年間排出量を4t-CO₂とした場合

4 かしわ環境フェスタ2020の開催

家庭における省エネルギー対策の啓発を目的に、毎年12月の地球温暖化防止月間に合わせて開催しているイベントです。

令和2年12月6日（日）、イオンモール柏にて「私たちにできることってなんだろう？～クールチョイスかしわ～」をテーマに市民団体・企業・行政の8団体が、展示ブースを出展しました。



参加団体	展示内容
エコ窓普及促進会	断熱リフォームやエコ窓の紹介
かしわ環境ステーション	柏市の自然景観や動植物の写真パネルの展示
柏市	国民運動「COOL CHOICE」のPR
柏市リサイクルプラザリボン館運営委員会	古布をリサイクルして作成された洋服や帽子等の展示
京葉ガス株式会社東葛支社	間伐材やエコクッキングについての展示
生活協同組合コープみらい 千葉エリア 6区ブロック委員会	コープみらいが取り組んでいる環境活動の紹介とリサイクルについての展示
千葉県環境研究センター	地球温暖化がもたらす気候変動についての展示
利根運河協議会	利根運河における外来種駆除や貴重種保護活動の紹介と利根運河の歴史や自然についての展示

5 緑のカーテンの推進

省エネルギーやヒートアイランド対策のための取組である緑のカーテンを「第二期柏市地球温暖化対策計画」及び「柏市公共施設等低炭素化指針」に基づき推進しています。令和2年度は、市有施設43施設にゴーヤの苗1,126株を配付し、緑のカーテンを設置しました。

表 令和2年度緑のカーテンCO₂削減量

配付施設数	配付した苗の数	年間CO ₂ 削減見込量※
43	1,126株	0.2t-CO ₂ /年

※第二期柏市地球温暖化対策計画(159頁)の算出根拠に基づき算出しています。緑のカーテン設置による冷房短縮時間

を1日1時間、冷房使用期間を2.5ヶ月とすると、1施設あたりの削減見込み量は0.005t-CO₂/年と想定されます。

例えば1万世帯が家庭に緑のカーテンを設置すると…

1万世帯 × 0.005t-CO₂ = **年間50t-CO₂** 削減されます。

6 柏市エコアクションプランによる市有施設の省エネの推進

公共施設から排出される温室効果ガス排出量を削減するため、平成26年度から令和2年度までに平成24年度比で温室効果ガス排出量を15%削減することを目標とした柏市エコアクションプランを策定しています。全部署共通の取組として、節電等の省エネ行動や高効率機器の積極的な導入を推進しています。令和2年度における温室効果ガス排出量の総量は、26,025 t-CO₂となりました。前年度比で5.2%増加、基準年度である平成24年度比で22.2%減少となります。

図 公共施設における温室効果ガス排出量と電気使用量の推移

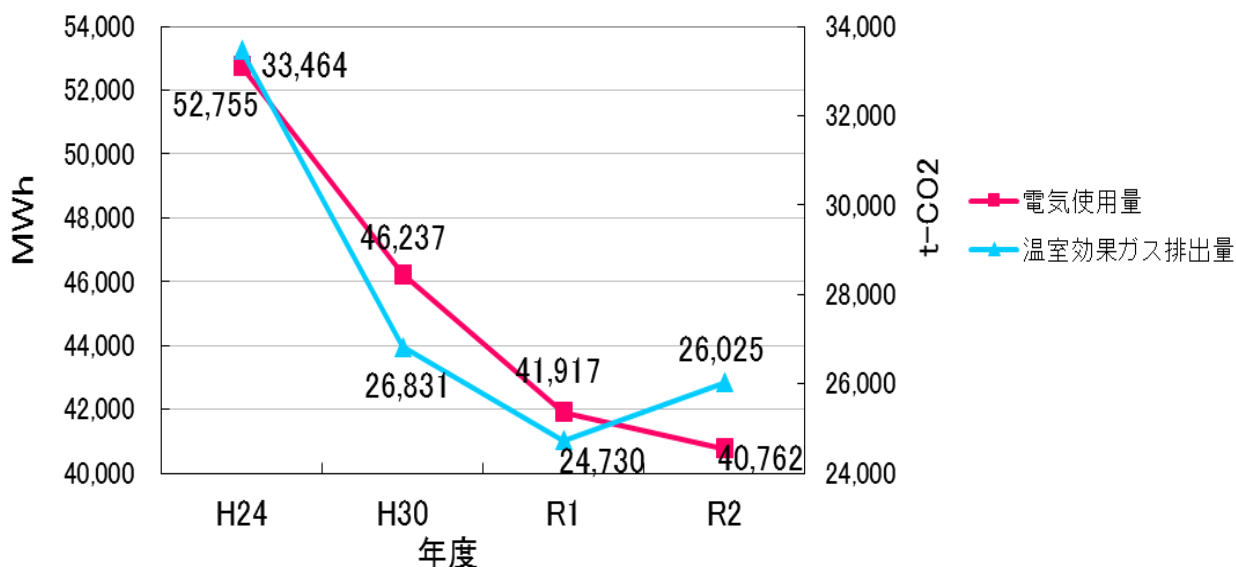


表 柏市エコアクションプラン 実態調査結果表 (単位：MWh・t-CO₂)

項目/年度	H24 (基準年度)	H30	R1	R2	対前年度比	対基準年度比
電気使用量	52,755	46,237	41,917	40,762	-2.8	-22.7
温室効果ガス排出量	33,464	26,831	24,730	26,025	5.2	-22.2

●感染症の拡大により、近隣センターやスポーツ施設等の市民利用施設の電気使用量は減少しましたが、一部の施設において前年度より排出係数の高い電気事業者と契約変更となったため、温室効果ガス排出量は増加しました。

●感染症の拡大により、執務室や教室の換気をしながら空調を稼働したため、本庁舎や小中学校のガス使用量は増加しました。

●今後も使用量の削減だけでなく、環境に配慮した電力の調達や、LED照明等省エネ設備の設置を推進して参ります。

7 沼南支所におけるコージェネレーションシステムの導入

公共施設から排出されるCO₂排出量削減のため、平成26年4月に柏市公共施設等低炭素化指針を策定しました。電気をこまめに消す等の省エネルギー行動のみでは限界があるため、省エネルギー設備や再生可能エネルギー設備の積極的な導入を推進しています。

平成30年度には柏市沼南庁舎にコージェネレーションシステムを導入し、令和元年度から稼働を開始しています。コージェネレーションシステムは都市ガスを燃料として、必要な場所で電気をつくり、同時に発生する熱を冷房・暖房・給湯・蒸気などに利用できるシステムです。電力と廃熱の両方を有効利用することでCO₂排出量を削減することができます。

表 沼南庁舎におけるコージェネレーションシステム導入等による効果 (単位：t-CO₂・%)

項目/年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	H30年度比削減量	H30年度比
CO ₂ 排出量	276.5	213.8	125.8	-150.7	-54.5

※CO₂排出量は電気及びガスの使用により排出されたものを合算しています。

※コージェネレーションシステムのみによる効果ではなく、電力の排出係数やLED照明の導入、空調機器等の建物の改修による効果の要素も含まれます。

図 コージェネレーションシステムの基本形態

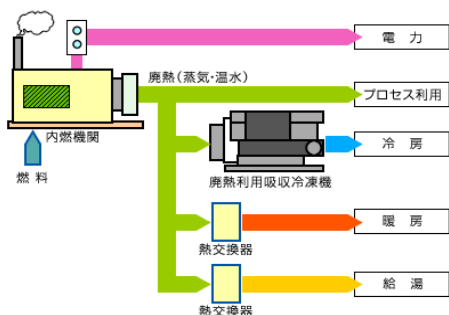


図 沼南庁舎のコージェネレーションシステム



※出典：コージェネ財団「コージェネレーションの基本形態」

8 公共施設における太陽光発電設備の設置

CO₂排出量削減，太陽光発電設備の普及啓発，停電時における電力確保等のため，公共施設における太陽光発電設備の設置を推進しています。

図 公共施設の太陽光発電設備の設置施設数及び発電容量の推移

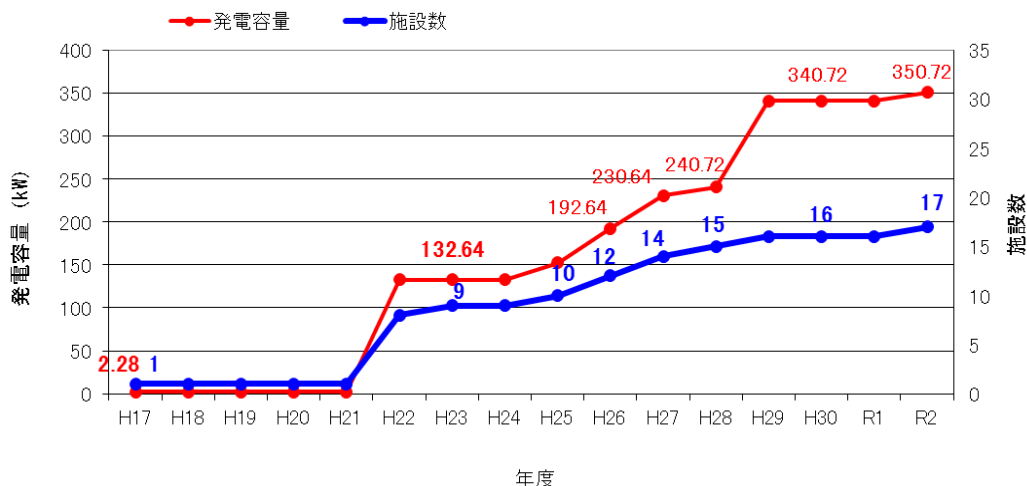


表 令和元年度までに公共施設に設置した太陽光発電設備

施設名	設置年度	容量	年間 CO ₂ 削減見込量
南部クリーンセンター	H16	2.28kW	1.0t-CO ₂ /年
リサイクルプラザリボン館	H22	5.00kW	2.2t-CO ₂ /年
市営駐車場	H22	3.36kW	1.5t-CO ₂ /年
風早南部小学校	H22	10.00kW	4.5t-CO ₂ /年
松葉第二小学校	H22	10.00kW	4.5t-CO ₂ /年
花野井小学校	H22	10.00kW	4.5t-CO ₂ /年
中原中学校	H22	10.00kW	4.5t-CO ₂ /年
柏の葉小学校※	H22/H27	100.00kW	44.7t-CO ₂ /年
市立柏高等学校	H23	10.00kW	4.5t-CO ₂ /年
柏地域医療連携センター	H25	20.00kW	8.9t-CO ₂ /年
柏中学校屋内運動場	H26	30.00kW	13.4t-CO ₂ /年
西部消防署たなか分署	H26	10.00kW	4.5t-CO ₂ /年
高柳近隣センター	H27	5.00kW	2.2t-CO ₂ /年
旭町近隣センター	H27	5.00kW	2.2t-CO ₂ /年
手賀近隣センター	H28	10.08kW	4.5t-CO ₂ /年
柏の葉中学校	H29	100.00kW	44.7t-CO ₂ /年
土小学校	R2	10.00kW	4.5t-CO ₂ /年
合計	17 施設	350.72kW	156.8t-CO ₂ /年

※平成27年に28kW増設

9 公共施設等におけるLED化の推進

CO₂排出量及び電気使用量削減のため、公共施設における照明のLED化を推進しています。多くの施設でLED化をしており、今後も施設の新設や改修の際は積極的にLED照明を導入していきます。

表 LED照明を導入した施設

年度	導入場所	本数	年間省エネルギー量	年間CO ₂ 削減見込量	備考
H26	本庁舎の一部	125本	13,482kWh/年	6.1t-CO ₂ /年	
H27	保育園	3,310本	136,923kWh/年	61.2t-CO ₂ /年	20/23施設 ※1
H27	消防局	1,104本	60,846kWh/年	27.2t-CO ₂ /年	9/11施設 ※1
H27	道路灯	4,552本	2,651,440kWh/年	1,212.6t-CO ₂ /年	
H27	防犯灯	20,290本	2,000,144kWh/年	894.1t-CO ₂ /年	20,290+12,074(既設)/ 33,542本 ※2
H28	分庁舎1	302本	15,230kWh/年	6.8t-CO ₂ /年	
H28	分室1	161本	10,035kWh/年	4.5t-CO ₂ /年	
H28	近隣センター	3,162本	306,537kWh/年	137.0t-CO ₂ /年	14/23施設 ※1
H28	富勢出張所	23本	1,188kWh/年	0.5t-CO ₂ /年	
H28	沼南老人福祉センター	174本	9,665kWh/年	4.3t-CO ₂ /年	
H28	南部老人福祉センター	308本	15,887kWh/年	7.1t-CO ₂ /年	
H28	しこだ児童センター	165本	9,465kWh/年	4.2t-CO ₂ /年	
H28	高柳児童センター	183本	12,111kWh/年	5.4t-CO ₂ /年	
H28	南部クリーンセンター	223本	17,325kWh/年	7.7t-CO ₂ /年	
H28	あけぼの山農業公園	413本	25,153kWh/年	11.2t-CO ₂ /年	
H28	公園灯	1,210灯	558,483kWh/年	249.6t-CO ₂ /年	
合計		35,705本	5,905,226kWh/年	2639.5t-CO ₂ /年	

※ 平成26年度から平成28年度までにLED照明を導入した施設の数です。これ以降、各施設で別途導入したものは含んでおりません。

※ 既に設置されている防犯灯に加え、新たにLED照明を導入した防犯灯の総数です。

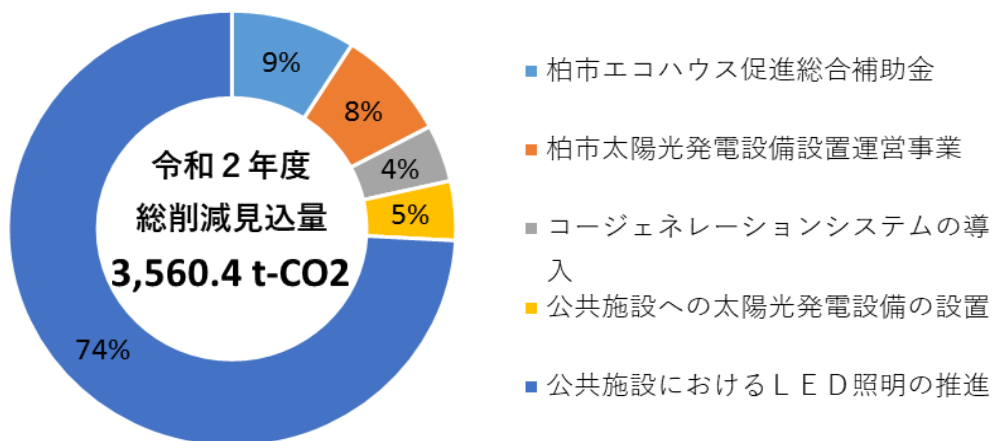
第4章 主な地球温暖化対策による年間CO₂削減見込量

令和2年度に実施した主な地球温暖化対策について、年間CO₂削減見込量が定量的に試算できる対策の数値を合算すると以下のとおりとなります。

表 対策事業によるCO₂削減見込量 (単位：t-CO₂/年)

対策事業	令和2年度
柏市エコハウス促進総合補助金	320.2
柏市太陽光発電設備設置運営事業	293.2
コージェネレーションシステムの導入	150.7
公共施設への太陽光発電設備の設置	156.8
公共施設におけるLED照明の推進	2639.5
合計	3560.4

図 対策事業によるCO₂削減見込量割合 (単位：t-CO₂/年)



●令和2年度に実施した地球温暖化対策事業による年間CO₂削減見込量は、**3560.4 t-CO₂**です。

●これは柏市の世帯数(193,654世帯^{※1})の約0.5%にあたる890世帯分の年間CO₂排出量に相当します。^{※2}

●太陽光発電設備による再生可能エネルギーの導入やLED照明等の省エネ設備の設置は大きな効果が見込まれるため、今後さらに取組の裾野を広げていくことが必要です。

※1 世帯数は令和2年10月1日時点での数値です。

※2 1世帯あたりの排出量を4t-CO₂とした場合(出展：温室効果ガスインベントリオフィス、全国地球温暖化防止活動推進センターウェブサイト)

第二期柏市地球温暖化対策計画実績報告書

発行年月 令和4年9月

発行 柏市

お問い合わせ先 柏市 環境部 環境政策課

〒277-8505 千葉県柏市柏五丁目10番1号

電話 04-7167-1695

FAX 04-7163-3728

URL <http://www.city.kashiwa.lg.jp/ecosite/index.html>